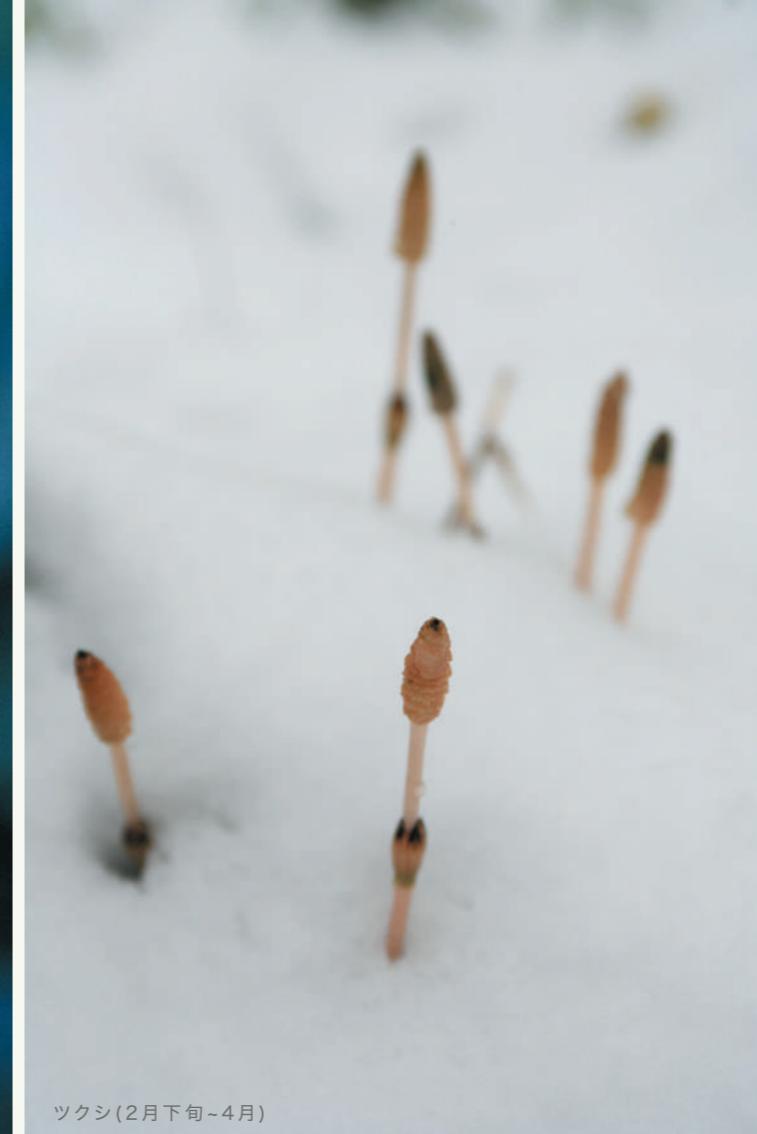




マツヨイグサ(6~8月)

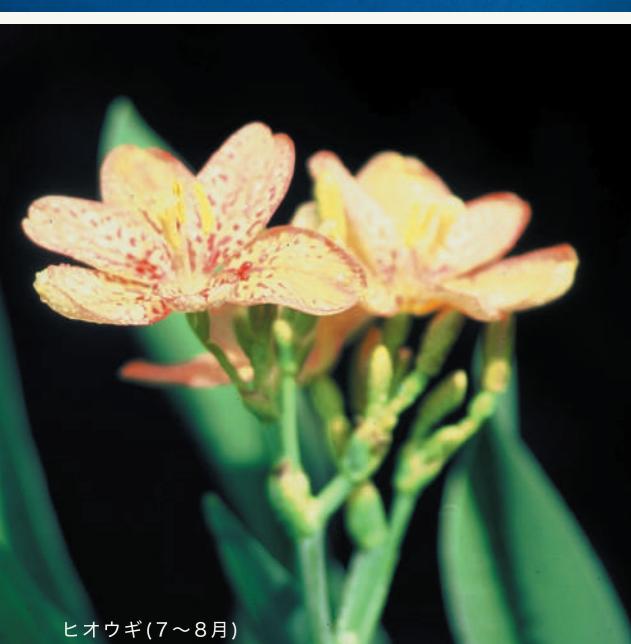


ツクシ(2月下旬~4月)



ワラビ(3~5月)

黒川温泉郷では、雄大な眺望を背景に、阿蘇の五岳の多種多様な野の花の風景を、四季を通じて楽しむことができます。



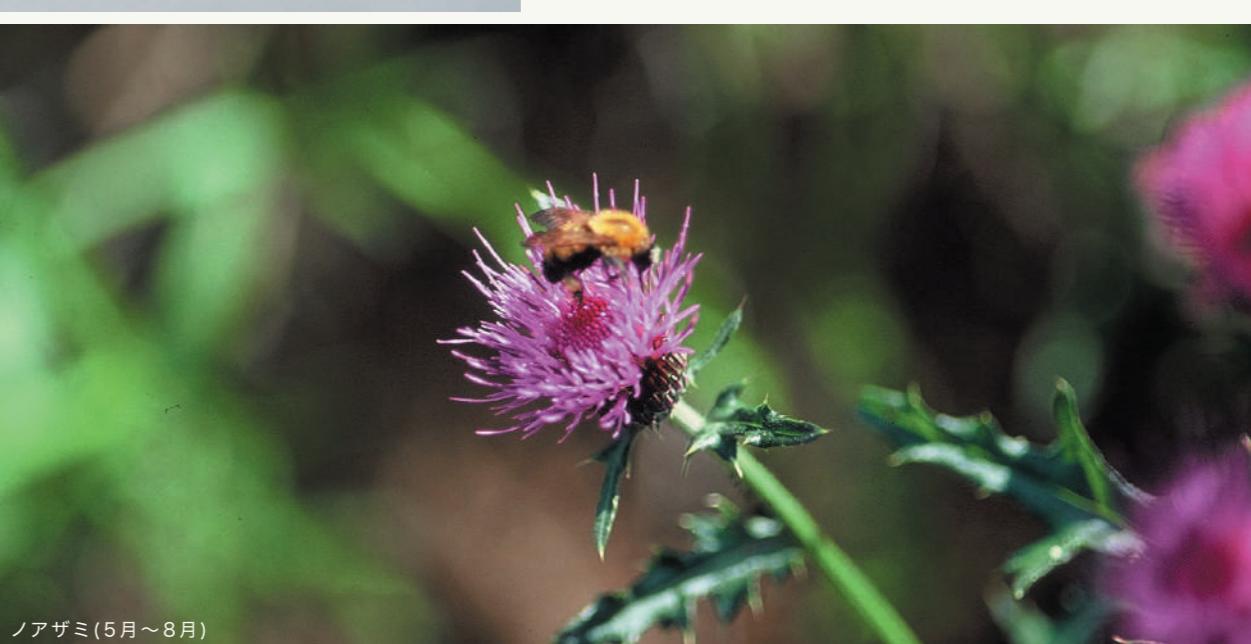
ヒオウギ(7~8月)



スズラン(5~6月)



ヒゴタイ(8~10月)



ノアザミ(5月~8月)



ホタルサイコ(7~9月)



サイヨウシャジン(8~11月)

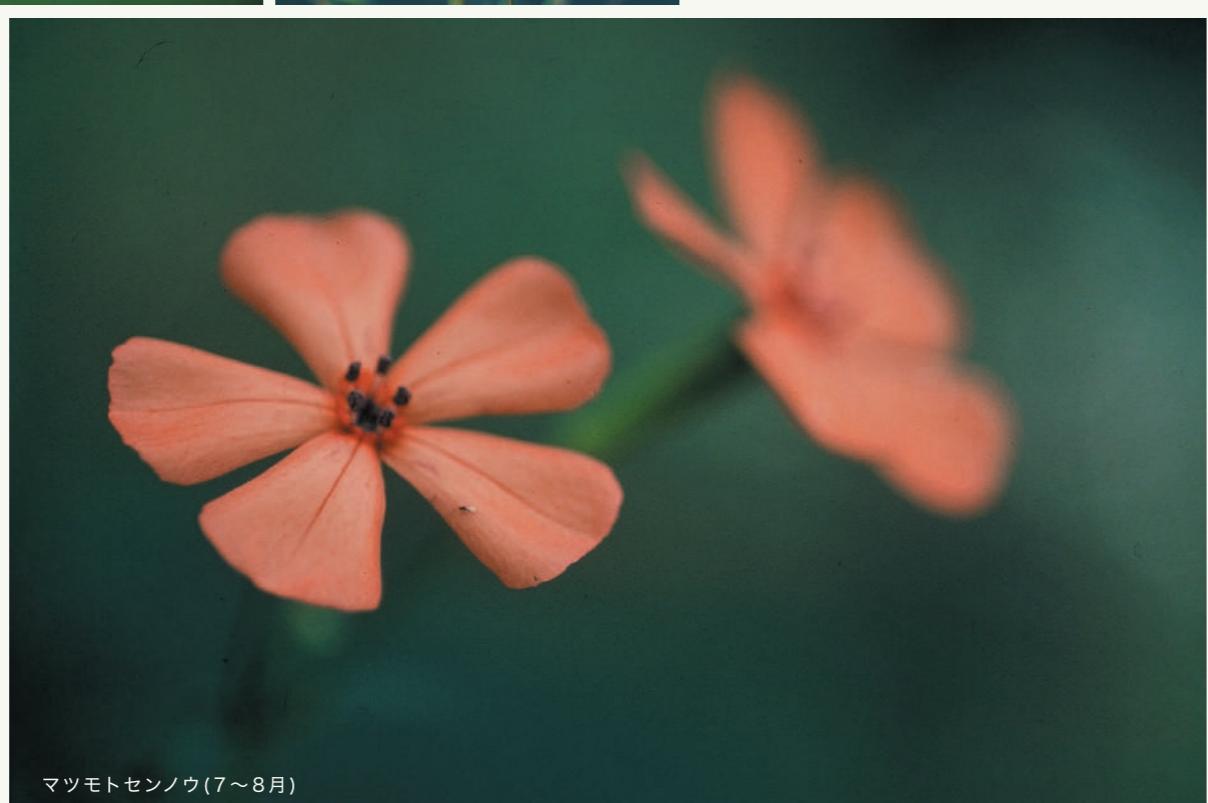
早春に行なわれる「野焼き」によって一斉に新緑に生まれ変わった草原では、山菜のワラビやノアザミ、ツクシトラノオなどが、筑後川源流の森ではイチリンソウ、夏にはヒオウギなどが咲き乱れます。

秋の夕日に映えるヌスギがどこまでも続風景は、爽やかな風を心の中にまで吹き込んでくれるようです。

そして情緒あふれる黒川温泉の旅館街では、冬に赤い実をつけるナンテンやカワラナデシコなど、山里ならではの彩りが映ります。



カワラナデシコ(5~8月)



マツモトセンノウ(7~8月)



ヨウシュヤマゴボウ(8月下旬~9月)



コスミレ(3~5月)



また、九州が大陸と陸続きであったことを物語るヒゴタイ、マツモトセンノウなど、阿蘇だけしか見ることができなくなったり、希少な植物をはじめ、草原特有の野鳥や昆蟲などとも触れ合うことができます。ここは、多様な生き物が棲み続ける為のかけがえのない環境のひとつなのです。



イチリンソウ(4~5月上旬)

ウォーキング後に おすすめの入湯法

【かかり湯】

入浴時には、まずかかり湯で汗を流します。足のつま先や腕など、心臓から離れた箇所から湯をかけ始め、最後に頭髪や頭皮にかけます。

【半身湯】

浴槽の段差などを利用し、上半身を外に出した形で入浴します。肺への負担が少くなり、長時間入浴することができます。

【足湯】

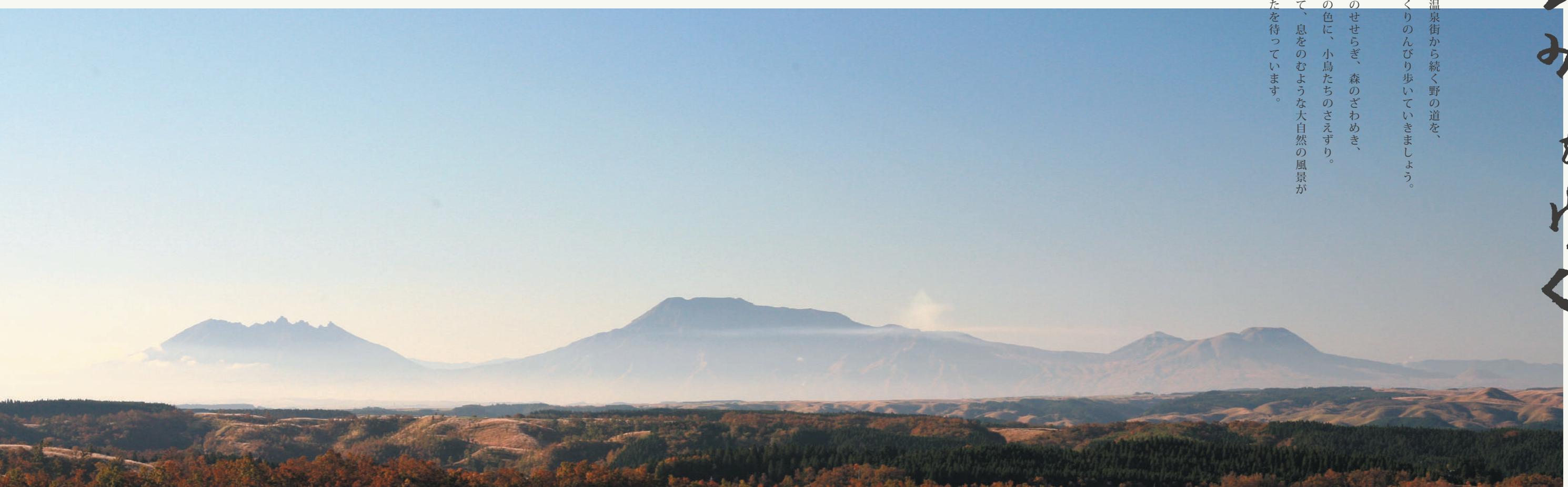
足湯に入ると、疲労物質である乳酸の蓄積が抑えられます。ウォーキング後の足湯は、脚部の筋肉をほぐす効果があります。(過度の筋肉痛の場合のご利用は避け下さい。)

黒川温泉

野
み
ち
を
ゆ
く

源流のせせらぎ、森のざわめき、
野花の色に、小鳥たちのさえずり。
そして、息をのむような大自然の風景が
あなたを待っています。

黒川温泉街から続く野の道を、
ゆっくりのんびり歩いていきましょう。



①ジンザプロウいで

田に水を引き入れるための小川。誰がそう呼び始めたのかは分かりませんが農地用のいでは今も活躍しています。



④渓流の風景

筑後川の源流に位置している川は、やがて大河となる水を運ぶ渓流。涼やかな水の音、まるで命の洗濯をしているようです。



⑦すづめ地獄

硫化ガスがボコボコと吹き出している冷泉。この上を飛んだズメは、そのガスで死んでしまうと言われたことからこのように呼ばれるようになりました。



②いけのもと山

山全体に広がる草原は、冬は白、春は茶、夏は緑、そして秋は山吹色と季節により違った色彩を見せてくれます。



⑤棚田の風景

昔から山あいのなか農業を営み、守られてきた棚田。これぞ日本人が思い浮かべる、ふるさとの里山の風景かもしれません。



⑧1000年続く草原

平野台エリアでは黒川牧野組合により毎年野焼きが行われています。野焼きなど人の手で継承されている阿蘇の草原は、古来より生息する野花の種を守り、あか牛を育む場になっています。



③馬頭観音

頭上に馬の頭をのせている、觀音様の石仏。放牧された馬や牛の守り神として祀られ、この土地を見守ってくれています。



⑥奇岩石群

阿蘇山の噴火によって出来たとされる石群。見る角度によって動物や人の形に見える不思議で奇妙な石がたくさんあります。



【あか牛つぐもプロジェクト】

南小国町であか牛を育ててお肉にし、旅館や飲食店でお客様へ提供することが自然資源の保全や循環農法の継承につながる資源循環の取り組み。あか牛を軸とした「景観」「農業」「観光」の3つの循環を未来につなげます。



片道約1時間

ひとつやのぼり(片道約4.1km)

いけのもと山と、黒川の里の風景。
緑の清涼感を感じながらゆったりと歩けます。

まるばのぼり(片道約4.3km)

黒川ならではの坂道を楽しめるルート。
渓流のせせらぎと、のどかな棚田の風景。

わらびのぼり(片道約4.1km)

渓流のせせらぎと、のどかな棚田の風景。
時には野うさぎに出会えることも。

【注意事項】 御手洗は、スタート地点の風の舍、親水公園駐車場にございます。 ※コース途中に流れる渓流の水や湧き水は飲み水ではありません。

道中に目印となる
看板があります。